



2024年5月10日

各位

会社名 株式会社アイリッジ
代表者名 代表取締役社長 小田 健太郎
(コード番号: 3917 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 森田 亮平
(TEL. 03-6441-2325)

連結業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上

並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、2024年3月期通期連結業績と2023年11月10日に公表しました2024年3月期通期連結業績予想との間に差異が発生するとともに、2024年3月期第4四半期において特別損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせします。

また、2024年3月期の通期連結業績を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を決議しましたので、併せてお知らせします。

記

1. 連結業績予想と実績値との差異について

(1) 2024年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,000	百万円 10	百万円 10	百万円 -	円 銭 -
当期実績値(B) (2024年3月期)	5,712	△91	△87	△1,156	△161.90
増減額(B-A)	△287	△101	△97	-	-
増減率(%)	△4.8%	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	5,418	378	389	175	24.91

(2) 差異の理由

当社グループのOMO事業オンラインマーケティング関連において営業体制の強化を行い、2024年3月期下期にかけて新規顧客の獲得は一定進捗したものの、新規顧客の案件単価が前回発表の想定を下回る水準となった結果、売上高、営業利益及び経常利益が予想を下回る実績となりました。

2. 特別損失の計上について

当社の連結子会社である株式会社 Qoil はこれまで OMO 事業においてイベントや店舗集客促進等の支援を行うオフラインマーケティング領域を中心に事業を行っていました。当社グループにおいては、当社と株式会社 Qoil を中心にグループ内での連携を促進することでグループ全体での案件創出を図っており、2024 年 3 月期においては組織面での取り組みも加速させ、連携を更に強化しています。将来的な企業価値向上を目的に、当社と株式会社 Qoil を中心とした当社グループの事業運営体制について、オフラインマーケティング領域のみならず、バリューチェーンのより上流であるビジネスプロデュース事業領域において、統合マーケティング支援やビジネスコンサルティング・実行支援などを担える体制へ転換を図っており、株式会社 Qoil を子会社化した当初の想定とは異なった形で収益機会を実現しつつあることから、株式会社 Qoil に係るのれんの減損処理を実施し、減損損失 313 百万円を特別損失として計上しました。

また、当社が保有する投資有価証券の一部について、取得価額に比べて時価が著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損 514 百万円を特別損失として計上し、当社が保有する同社に対する債権について回収可能性を評価した結果、貸倒引当金繰入額 51 百万円を特別損失として計上しました。

3. 役員報酬の減額について

当社は、この度の 2024 年 3 月期の通期連結業績を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を決議しました。

(役員報酬の減額の内容)

代表取締役社長	: 報酬月額の 30%を 3 ヶ月間減額
取締役 (社外取締役を除く)	: 報酬月額の 10%を 3 ヶ月間減額

以 上